



はじめに

みどり通信では、みどり認定を受けることによる税制優遇や補助金の優先採択など、農林水産省が講じているメリット措置についてご紹介してきました。今月号では、各都道府県でみどり認定を要件などとしている補助事業や、その活用事例についてご紹介します。これからみどり認定の取得を考えている方、又は、すでにみどり認定を受けている方で県の補助事業を活用し、環境負荷低減の取組を始めたい、取組を拡大したいという方の参考になると幸いです。

🔦 テーマ：みどり認定を要件などとしている都道府県の補助事業

令和6年度及び令和7年度では、10以上の都道府県において、みどり認定を要件とした補助事業又はみどり認定が採択時のポイント加算対象となっている補助事業があります。次ページ以降では、みどり認定を受け、都道府県の補助事業等を活用している事例をご紹介します。

都道府県単独事業にみどり認定を優遇措置している事業一覧（公表可能なもののみ）

（今後の予算編成過程で変更があり得ますのでご注意ください。）

都道府県	事業名	支援内容	要件or優先採択
秋田県	化学肥料低減機械等導入支援事業（R6） 夢ある園芸産地創造事業（R6、R7）	ハード ハード	要件 ポイント加算
群馬県	群馬県畜産堆肥活用推進モデル事業（R6まで） 群馬県環境負荷低減・資源循環型農業推進モデル事業（R7予定） 「野菜・王国ぐんま」総合対策（R6まで） 野菜花き生産力強化（R7予定）	ハード ハード ハード・ソフト ハード・ソフト	要件 要件 ポイント加算 ポイント加算
埼玉県	施設園芸パイオニア技術推進事業（R5～R7） あまかおべにべに倍増作戦展開事業（R6、R7） 元気な野菜産地づくり支援事業（R6、R7）	ハード ハード ハード	ポイント加算 ポイント加算 ポイント加算
千葉県	「環境にやさしい農業」推進事業（R6、R7）	ハード	要件
滋賀県	オーガニック農産物生産拡大事業費補助金 （有機JAS認証取得支援事業）（R6、R7）	ソフト	ポイント加算
京都府	「京の米」生産イノベーション事業（R5～R6、R7予定） 京の地域特産物応援事業（R5～R6、R7予定） 京野菜生産加速化事業（R5～R6、R7予定） 京野菜産地基盤づくり事業（R5～R6、R7予定） ICT施設園芸モデル整備事業（R5～R6、R7予定）	ハード ソフト ハード ハード ハード	優先枠 優先枠 ポイント加算 ポイント加算 ポイント加算
和歌山県	野菜花き産地強化事業（R6、R7）	ハード	要件
徳島県	とくしま農山漁村未来投資事業（R7） 産地収益性向上事業（R7）	ハード・ソフト ソフト	ポイント加算 ポイント加算
高知県	環境負荷軽減促進事業費補助金（R6、R7） 有機農業推進事業費補助金（R6、R7）	ハード・ソフト ソフト	要件 要件
長崎県	ながさき農林業グリーン化総合対策事業（R5～R7） グリーン農産物PR活動費補助金（R6、R7） ながさき農林業・農山村構造改善加速化事業（R6、R7）	ハード ソフト ハード	要件 要件 ポイント加算

(1) 高知県高知市 中西 亮介氏(有機JAS取得費用の補助(ソフト支援))

中西亮介氏はかんしょ（67.8a）、しょうが（4.2a）、枝豆（5.4a）、その他（55.6a）の生産を行っています。かんしょ及びしょうがの生産において、緑肥の施用や有機JAS適合資材のみを使用することによる土づくり、化学肥料・化学農薬の不使用に取り組む計画でみどり認定を受けました。みどり認定を受けた取組により生産した農産物は、有機JAS認証を取得しています。高知県では、令和6年度からみどり認定を要件に有機JAS認証の認証手数料などを補助する有機農業推進事業費補助金を措置したことから、中西さんはみどり認定の申請を決めました。みどり認定を受け、補助金を活用することができたことにより、有機農業の取組を継続しやすくなりました。



中西 亮介氏



かんしょ（有機JAS）

【みどり認定 計画イメージ】		計画申請時 (R6)→ 目標 (R11)	
(土づくり) ・緑肥の施用	緑肥	3kg/10a	→ 1.5～3kg/10a
(化学肥料の施用減少) ・有機JAS適合資材の施用	化学肥料	0kg	→ 0kg
(化学農薬の施用減少) ・有機JAS適合資材の施用	化学農薬	0kg	→ 0kg
環境負荷低減事業活動の取組面積		67.84a	→ 67.84a

土壌診断の結果に合わせて施用。

(2) 長崎県雲仙市 株式会社吉田花き農園(防除機械の導入(ハード支援))

株式会社吉田花き農園は、キク（1ha）の生産を行っています。資材高のため経営コストを検討し、環境負荷低減の取組を始めました。有機質資材の施用による化学肥料の使用低減と、UV-B照射の防除技術を導入することによる化学農薬の使用低減・作業効率化に取り組む計画でみどり認定を受けました。UV-B照射装置の購入を検討し、県の担当者に相談した際に、長崎県のながさき農林業グリーン化総合対策事業を活用し、購入費用の補助を受けることができると知ったことが、みどり認定を取得したきっかけです。



吉田 良一氏



導入したUV-B照射装置

【みどり認定 計画イメージ】		計画申請時 (R6)→ 目標 (R11)	
(土づくり) ・堆肥の施用	堆肥	500kg/10a	→ 1,500kg/10a
・有機土壌改良剤の施用		500kg/10a	→ 800kg/10a
(化学肥料の施用減少) ・有機質肥料の施用増加	化学肥料	180kg/10a	→ 320kg/10a
・化成肥料の施用減少		200kg/10a	→ 100kg/10a
(化学農薬の施用減少) ・光照射（UV-B照射）による防除技術導入	化学農薬	防除回数 60回/年	→ 45回/年
環境負荷低減事業活動の取組面積		0ha	→ 1ha

(3) 茨城県(JAバンク茨城) いばらきみどり認定利子補給制度

茨城県でみどり認定を受けた農業者が、JAバンク茨城で農業近代化資金を借入する場合に活用できる利子補給制度です。JAバンク（全国）が行う利子補給と併用することで、最大7年間の利子補給を受けることができます。

本制度は、いばらきみどり認定の運用開始を受けたJAバンク茨城県信連のご協力で、認定者の増加に向け実現したものです。



JAバンク茨城チラシ



制度イメージ



JAバンク茨城HP



茨城県HP

2 みどりの食料システム戦略グループの動き

(1) みどりの食料システム戦略推進交付金の追加募集について

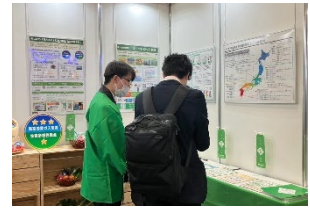
みどりの食料システム戦略推進交付金（R6補正・R7当初）の追加募集を行っています。要望がある方はお早めに都道府県にご相談ください。

(2) みどりの食料システムEXPOに出展しました。

【本省みどりの食料システム戦略グループの若手職員の取組】

3/11～14に東京ビックサイトで開催されたみどりの食料システムEXPOで、本省みどりの食料システム戦略グループの若手職員がブース対応を行いました。ブースでは、みどりの食料システム戦略、みどり認定、環境負荷低減の取組の「見える化」、J-クレジット制度について来場者の方に説明しました。

また、認定基盤確立事業者・環境負荷低減に取り組む自治体等によるセミナー（「みどりの食料システム法」の良いとこ教えて！セミナー）を実施し、事業者や自治体での環境負荷低減への取組についてご講演いただきました。セミナー開催後のアンケートでは、「事業者の取組に興味を沸いた」、「自治体の特定区域の取組も参考になった」との感想をいただきました。



農林水産省ブースにはメーカーや農業者の方等多くの方にご来場いただきました。



セミナーの様子

(3) 説明会・研修会などに講師を派遣します！

みどりの食料システム戦略や認定制度、クロスコンプライアンス等について、農林水産省のみどり戦略担当が御説明します。J-クレジット制度や「見える化」の取組も含め、御要望がありましたら、お近くの地方農政局のみどり担当窓口までお気軽にご相談ください。

【最近の主な周知活動】

- 2/14 【東京都】水産業連絡会議（小林）
- 3/11～14 【東京都】みどりの食料システムEXPO（ブース出展・セミナー開催）
- 3/14 【東京都】法人協会セミナー（清水）

◇御意見・御感想等をお寄せください◇

みどり通信に関する御意見・御感想や取り上げてほしいテーマのほか、御自身の所属する都道府県・市町村の取組（300字程度）を掲載してほしい！といった声もお待ちしております。以下のメールアドレスまでお寄せください。

メールアドレス：midorihou_kankyo_bio@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省大臣官房みどりの食料システム戦略グループ
（担当：渡邊、藤田）

TEL：03-6744-7186



みどり認定の最新情報をお届け！「みどり通信」